



仙台電波高専同窓会報

第56号

発行: 仙台電波工業専門学校同窓会
〒989-3128
宮城県仙台市青葉区愛子
中央4丁目16-1
FAX: 022-391-6144
E-mail: jimukyoku2005
@dosokai.org.sendai-ct.ac.jp
印刷: 株式会社ジャパン

平成二十年度 総会報告

同窓会副会長
出 貝 隆 志
(電波通信学科九期)

平成二十年度仙台電波高専同窓会総会及び東北支部設立総会は、去る六月十四日(土)仙台のホテルサンルートにおいて開催されました。当日は早朝にあった震度六強を記録する岩手・宮城内陸地震の影響により欠席を余儀なくされる方が数多くおりましたが、それでも本年と同程度の四十名の出席を得ることができました。佐々木勇同窓会長及び学校長(加藤副校長代読)挨拶の後、本科五期千葉定一氏が議長に選任され審議に入りました。

実、会報のカラージ化③卒業生に対する同窓会ガイダンス④とんと祭や講演会など同窓会活動の活性化や現役学生との絆の強化活動の計画が提案され、活発な意見交換の結果満場一致で承認されました。また、二年に一度の役員改選では本科十六期赤井澤正利副会長が退任され、電波通信学科八期工藤久志氏が選任される等新たな体制が参加者全員により賛同を得ました。

引き続き行われた東北支部の設立総会ではこれまでの経過が報告された後、支部規約及び役員体制の審議が行われ、満場一致により承認されました。役員には電波通信学科七期庄子直人支部長、本科十五期佐竹幸三副支部長、情報工学科八期中村文副支部長他総勢十六名が選任されました。



その後の懇親会では、旧職員の近江みややさんや新規加入者・女性会員の談笑があちこちから聞かれ、無縁放浪歌の大合唱のあと名残を惜しみつつ散会となりました。

承認されました。役員には電波通信学科七期庄子直人支部長、本科十五期佐竹幸三副支部長、情報工学科八期中村文副支部長他総勢十六名が選任されました。

私は、今年の三月に卒業し、初めて同窓会に出席させて頂きました。当日は、岩手・宮城内陸地震があり欠席される方も多く、お会いできない事はとても残念でもありましたが、先輩方がいっしょに整備に携わっている事を実感し、とても誇りに思いました。また、懇親会では皆さんに大変貴重なお話を聞くことができ、とても良い経験となりました。

初めは、様々な年代の方がいらっしやう緊張しましたが、皆さんにとても良くして頂き、楽しい時間を過ごすことができました。

今回の同窓会では、私の同世代の方が少ないという印象を受けました。今後、同窓会を牽引していくのは我々若い世代だと思っております。

同窓会に堅い印象をお持ちの方も多くいらっしやうとは思いますが、母校として社会人の先輩方から得られるものは多く、大変貴重な経験になるという事を同世代の方にも伝えていけたら良いなと思っております。

電波高専への感謝の気持ちも込めて今後も同窓会に貢献していきたいと思っております。

私は、受付にいた関係で、会の進行はよくわからないのですが、受付で感じたことを報告させていただきます。

受付は、今年も高専十七期の船水栄子さんをお願いしました。お越しになれる方はどなたも不安な気持ちがあると思いますが、船水さんの笑顔で出迎えられると緊張が緩み、同窓会の顔でもある伊藤さんを見つけて安心する、そんな空気があります。そして、参加者名簿で自分を見つけると同時に同級生や知り合いの名前を見つけ、会場へ吸い込まれるように入っていくことができます。やはり、同窓会と言っても知り合いが参加されているかどうかはすごく重要なことなのですね。

是非、来年の年賀状には、「今年度は一緒に同窓会へ行こう」とお誘いいただければと思います。ではまた、お会いしましょう。

会長挨拶



同窓会長
佐々木 勇
(本科二十二期)

大変落ち着きのない天気、猛暑と大雨により都市部でも被害がありました。皆様方はいかがでしたでしょうか。彼岸になり、今年も三陸沖のおいしい秋刀魚の水揚げが盛んです。去年の秋にも、自民党総裁が決まったことを書きましたが、この秋も新しい総裁が決まりました。今後の日本の舵取りに注目が集まっています。宮城高専との統合への良い影響も期待したいです。

今年卒業された卒業生の方々と、学業や仕事になじんできた頃ではないでしょうか。先日、スポーツランド菅生で「エコランコンテス」の応援に行っていました。母校関係の電気自動車は、降りしきる雨をものともせず、二時間を走り切りました。プレーキの時の「回生電力の制御」などの技術力に加え、電話での激しい確かなアドバースなど、まさに人間力を発揮しておりまして。今、東北はト

コタのセントラル自動車の工場移転など、まさに自動車と環境が注目を浴びております。わが母校は、その発展に寄与する重要な位置に居ります。技術力と人間力を発揮して、地域発展、世界発展につなげて行つてほしいものです。

皆様のおかげで、全体の活動強化の為、東北支部を立ち上げる事ができました。今回のエコランの応援も、東北支部の事業として行ったものです。今後とも会員皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

① 近況報告
九月の支部会合では若手及び女性幹事の方から斬新なアイデアを多数いただき、また本科諸先輩方よりフォローいただけて盛り上がっています。

③ 東北支部メンバー(敬称略)
顧問 赤井澤正利 本科十六期
渡辺彰彦 本科十六期
支部長 庄子直人 電波通信七期
副支部長 佐竹幸三 本科 十五期
出貝隆志 電波通信九期
佐々木正明 電波通信十八期
中村 文 情報工学 八期
幹事 伊藤鉄幸 電波通信五期
青山文則 電波通信十一期
三浦 将 電波通信十五期
川村祐一 電波通信十七期
佐々木剛 電波通信十七期
加藤兵郎 情報システム 九期
手塚多恵 情報通信十二期
藤澤沙織 情報通信十四期
板垣静香 情報通信十五期

東北支部設立ご報告

東北支部支部長
庄子 直人
(電波通信学科七期)

今年六月十四日(宮城・岩手大地震の日)の総会で東北支部が誕生いたしました。皆様どうぞ東北支部活動へのご支援をいたたくようよろしくお願い申し上げます。

① 近況報告

九月の支部会合では若手及び女性幹事の方から斬新なアイデアを多数いただき、また本科諸先輩方よりフォローいただけて盛り上がっています。

③ 東北支部活動方針

二〇〇八年 関東支部懇親会を開催

関東支部幹事
野崎 隆志
(電子工学科一期)



関東支部では、従来の新春恒例行事を六月二十八日(土)に関東支部懇親会に代えて、ホテル銀座ラフィナート(電話交換機発祥の地)で盛大に開催しました。

私は、入学時に松韻寮で同室だった小泉幹事の依頼で幹事になってしまいました。裏方のご苦労も知らず、ただ飲んで楽しんで帰るお気軽な一同窓生から、皆様をお迎えする立場に代わり新鮮な感覚で参加させていただきました。

懇親会そのものは、これまでとも変わりはなく、トンツピンゴあり、最後はお決まりの無縁放浪歌を輪になって合唱し、自分が歌える不思議を実感してお開きとなります。

私は、受付にいた関係で、会の進行はよくわからないのですが、受付で感じたことを報告させていただきます。

受付は、今年も高専十七期の船水栄子さんをお願いしました。お越しになれる方はどなたも不安な気持ちがあると思いますが、船水さんの笑顔で出迎えられると緊張が緩み、同窓会の顔でもある伊藤さんを見つけて安心する、そんな空気があります。そして、参加者名簿で自分を見つけると同時に同級生や知り合いの名前を見つけ、会場へ吸い込まれるように入っていくことができます。やはり、同窓会と言っても知り合いが参加されているかどうかはすごく重要なことなのですね。

是非、来年の年賀状には、「今年度は一緒に同窓会へ行こう」とお誘いいただければと思います。ではまた、お会いしましょう。

卒業三十年記念 第四期生同窓会

今泉 修
(電波通信学科四期)

平成二十年五月十七日(土)新緑が眩しい作並温泉で、卒業三十年を記念して電波通信学科第四期生の同窓会が開催されました。会場は高専五年の分散会に、皆で宿泊した岩松旅館。古谷恒雄先生、佐藤弘先生にもご参加を賜り、総勢二十七名の宴会は大変な盛り上がりでした。

久々の再会に、髪型が変わり、体型が変わり、最初の内は「誰だっけ?」の声も聞かれましたが、

直ぐに思い出話に花が咲き三十年前にタイムスリップした夜はあつという間に過ぎ去りました。

翌日は母校を訪問し、懐かしの松韻寮、当時のままの校舎と卒業後に立てられた建物を薬科秀男先生にご案内いただき、三十年という歴史をそれぞれが感じながら、見学させていただくことができました。そして、私たちが学生だったあの時と変わらずにそびえ立つ鉄塔を見上げながら、変わり行く

本科八期B組の 同級会を開催

名取 輝忠
(本科八期)

六月十一日(水)本科八期B組の同級会を開催しました。東京仕切りのはずなのに何故か場所は山形の月岡ホテル。でも山形はさくらんぼのとれるこの時期が一年中で一番いい季節であり、体にやさしい湯の「かみのやま温泉」とあれば、在山形の筆者としては花マルをあげたいと思います。

昭和十四年(十五年生まれは数え年七十歳、古希にあたりますが、案内状は卒業五十周年記念クラス会。昭和三十三年に卒業して半世紀すぎたこととなります。初参加の安部勝信君を含め、参加者



は十八名でした。節目とあって、全員一人約五分の持ち時間で、それぞれの過ごし方をスピーチしました。約二時間でしたが、さすがにそれぞれの五十年は重みのあるものでした。

宴席の最後はもちろん「無線放浪歌」です。島村正行君の用意してくれた伴奏にのせ、肩を組み合って歌いましたが、これまでになく素晴らしい斉唱でした。再び変わらつたある電波高の八木山の校舎、松韻寮に想いをはせ、先に逝ってしまった同級生に捧げるレクイエムだったのかも知れないこの原稿を書きながら考えております。

翌日のエクスカッションは「蔵王のお金。快晴とは言えないけれど、年に何回あるかどうかの妙に山が近く見える日で、これほどくつきお金を見たのは記憶にありません。湖面のエメラルドグリーンも最高、朝日連邦・飯豊吾妻連邦、遠くに磐梯山が望めるほどでした。次回は仙台です。

母校に幾ばくかの寂しさを覚えながらも、皆の健康を祈念し、再会を誓い合って解散となりました。

専攻科の社会人 選抜による学生 募集について

専攻科では、平成二十年度の学生募集から、「推薦選抜(学校長推薦、企業等推薦)」と「学力選抜」に加えて「社会人選抜」の枠を設けています。社会人選抜は、高等専門学校を卒業後、原則一年以上社会で勤務した経験がある者を対象にします。

世の中の技術は日進月歩で進歩しています。高専を卒業して就職した後、もっと勉強が必要と感じることもあると思います。社会人選抜の枠は、そのような卒業生のために設けました。入学者の選抜は、「調査書、小論文及び面接」の結果を総合して行います。会社等、社会での勤務経験を評価し、学力試験は免除されます。企業等に在職のまま入学することも可能です(その場合は、所属長が発行した受験承諾書が必要です)。

平成二十一年には社会人選抜で一名が入学予定です。



『JCS(銚子無線)生誕百年祭』開催される!

JCS東北会会長 千葉 定一 (本科五期)

『JCS(銚子無線)生誕百年祭』

「COCCODE JCS JCS」明治四十一年(一九〇八年)五月十六日、銚子町平磯台に開局。平成八年三月三十一日閉局までの八十八年間の輝かしい活躍を経て本年五月十六日生誕百年を迎えました。

ただひたすらに銚子無線JCSを懐かしむ集いを開催。喜びと感動百八十名を超える無線人が集まりました。世話人グループ、案内を出した八百名の中に仙台電波高・電波高専卒の先輩・後輩が多数おられます。当日の参加者のうち宮城県内在住者は八名、千葉定一(本科五期)、松田隆次(専攻科七期)、小西宗弘(本科十期)、佐藤邦洋(本科十三期)、阿部幸一(本科十

六期)、加藤誠一(本科十七期)、日野弘英(電波通信学科一期)、坂本正(説問)。その外関東在住者は千野根秀夫(専攻科六期)外七名。欠席者で宮城県内在住者は小林英雄(本科八期)外八名。関東在住者では最長老の斎藤和三(本科三期、元川崎汽船)、佐藤喜之(専攻科五期)外、多数の後輩達がおられます。今回はJCS生誕百年祭ということでJCSに限定して掲載しましたが、当時の海岸局(中波局、小樽、函館、新潟、横浜、汐岬等)の勤務経験者は山本正二(専攻科九期)さん外、多数おられることも附記しておきます。ただ残念な事は、当時一緒に働いた人の中で、若くして物故者になられた加藤

全国高専体育大会



北海道支部副支部長 渡辺 秀博
(電波通信学科三期)

出場学生を迎えて

薬科先生よりいただき、競技の前々日にあたる八月二十二日に札幌ススキノで壮行会を開催しました。武田先生以下、五年の鹿野浩平君、二年の斎藤有矢君、安部充君と食事をしながら楽しいひとときを過ごしました。皆さんとは初対面だったのですが、本校の学生らしく、礼儀正しく素直な学生達で好感が持てました。折しも、北京オリンピックで北島選手が金メダルを取ったこともあり水泳談義に花が咲き、予定時間をオーバーしてしまいました。その影響もあってか? 競技結果では残念ながら上位入

今年度の全国高専体育大会は八月十七日から二十七日の日程で北海道の函館・苫小牧・釧路・旭川の各会場で行なわれました。本校からは、水泳競技で四名、剣道競技で一名が全国大会に出場しました。北海道支部では、来道する後輩達を激励すべく準備をしていたのですが、予想より少ない出場者でちよつと残念でした。(特に函館地区では、伊藤支部長はじめ、超OBの面々が楽しみにしていたのです。...)。そんな中で、武田拓先生が引率する水泳の選手達が競技期間中、札幌に滞在する、との情報を



エコラン報告

八月三十一日(日)にスポーツランドSUGOで電気自動車エコラン競技会が行われました。エコランとは、主催者側が用意した電池を用いて、二時間でコースを何周できるかを競うレースです。今回のレースには、母校から二チーム、同窓生の一チームが参戦しました。

当日は前日から降り続く雨に開催も危ぶまれるほどで、レース開始前には、水抜き用の穴をポディーに開ける、タイヤ側からの浸水を防ぐカバーを取り付け、タイヤを滑りにくいものに交換する等の雨対策を行う姿が見られました。

レース中も雨は降り続き、路面が滑りやすく、スピン、コースアウトが多発。衝突事故によりリタイアするチームもありました。そ

どんと祭に 参加しませんか



仙台電波高専同窓会では、大崎八幡宮のどんと祭に参加しています。三年目となる今年は同窓生、教職員、学生と、過去最高の総勢二十六名の団体となりました。当日は風は穏やかなものの、最高気温二度と底冷えのする寒さとなりましたが、出発地点の柏木市民センターから大崎八幡宮までの道中を整然と行進し参拝することが出来ました。今回は二名の留学生も参加し、その様子は当日の仙台放送のニュース番組で放送されました。

来年一月に、皆さんも一緒に参加してみませんか。提灯と鐘を持って沈黙を守りながら大崎八幡宮の本殿をめざして整然と行進し、参拝のあと御神火を回り注連縄を投げ込みます。新しい年を心身ともに清々しくスタートしませんか。



んな中、母校の二チームはバンク等のトラブルもありましたが無事に完走。それぞれ、周回数五周でジュニア部門十二位、総合二十三位、周回数十周でジュニア部門八位、総合十五位という成績を修め、奨励賞を受賞しました。同窓生チームは、周回数十一周でオープン部門五位、総合十一位で完走し、ケミコン賞を受賞しました。

参加頂ける方は十二月十七日まで事務局に022-3391156または、電話022-3391156-17担当菅原までご連絡ください。

参拝神社 大崎八幡宮
日 時 一月十四日十六時から十八時まで
参加費 三千元
(支度・参拝料等一式込み)

◎申し込みの時に足袋のサイズ(何センチか)とバッチのサイズ(S・M・L)をお知らせください。



『五期会』だより！ 五期会事務局 千葉定一

①在仙有志の『親校会』
・とき 平成二十年四月十九日
桜の植樹以来続けて来た恒例の桜の開花状況の検証会は生憎の降雨のため中止した。

②平成二十年第一回ゴルフコンペ
・とき 平成二十年八月七日
・ところ 宮城蔵王CC

・参加者 正会員八名(東京から水戸、只楚の二名参加)準会員三名
志賀野栄(本科二期)、千葉幸一(本科二期)、村田元(専攻科九期)

・成績 優勝 佐藤富二夫(初めての優勝) 今回はC付だったせいかない
③有志の暑気払い
・とき 平成二十年八月七日
・ところ 白石市「薬師の湯ひまわりC」

・参加者 十三名(コンペ参加の七名の外、古河市から藤田和弘を含む六名)
周知事項等
①『関西以西会』の懇親会
・とき 平成二十年十月二十日
・ところ 熱海温泉ホテル弥生
幹事 門真威夫

仙台電波高専から仙台高専へ 新モデルの「スーパー高専」設置へ！

八月二十二日、二〇〇九年十月に統合し新校名を仙台高専とすることが発表された。

統合後は仙台電波高専を広瀬キャンパス、宮城高専を名取キャンパスとして存続し活用する。情報電子システム工学系三学科を広瀬キャンパスに、名取キャンパスには生産システムデザイン工学系四学科を置き、定員は両キャンパスで二八〇人となる。

統合の目玉の一つである専攻科の充実のため、専攻科は広瀬に情報電子システム工学専攻を、名取に

②平成二十年有志忘年会
・とき 平成二十年十一月十五日
・ところ わたり温泉島の海
③平成二十年第三回コンペ
・とき 平成二十年十一月十八日
・ところ 宮城野GC
④訃報 三橋圭三 平成十八年

在仙・仙台電波交流会のご案内

在仙の皆様、今年度も左記のとおり交流会を開催いたします。

例年、在仙各社にお勤めの皆様を中心に、学校関係者もお招きしながら、幅広い世代間での交流の場としております。

昨年度参加の方々は放送・通信各々の支部より本年中に案内いたします。また、氏名・連絡先(メールアドレス又は住所)を明記のうえ、今年度の幹事担当にご連絡いただければ、追って詳細なご案内を送付させていただきます。

記
平成二十年六月六日(金)十九時より
ホテルコムス仙台
(旧三井アーバンホテル仙台)
仙台市青葉区本町一十八一
022-2651313

今年度幹事
NHK仙台技術部 佐々木 剛
(電波通信学科十七期)
Mail: sasakir.t@nhk.or.jp

生産システムデザイン工学専攻を置き、定員を三十八人から七十人に倍増させる。

新高専の魅力やメリット等は、スーパー高専として専攻科の拡充による高度な技術者育成の充実や地域イノベーションセンター等三つのセクターを持つ地域人材開発本部の設置により更なる地域貢献を目指すこと。統合は宮城地区の他、富山、香川、熊本の三地区六高専においても実施されること公表された。◆新校章・校歌募集集中。詳細は母校のHPに掲載中です。

回顧録「実習」

古市 幸昌
(特科四期)

会員だより

神奈川県横浜市に在住の特科四期古市幸昌氏から、太平洋戦争当時実習生として乗船した思い出を「回顧録 実習」と題して寄稿いただきましたのでご紹介いたします。なお、本稿は長編となっておりますので、本誌では一部の掲載とさせていただきます。全文は同窓会ホームページに掲載させていただきます。

昭和二十年四月二十日、私は学校からの実習先の通知で日本郵船神戸支店に向かいました。神戸駅からの市電通りの両側は前日の空襲でがれきの山になっていました。が海岸通りの日本郵船は幸い無事でした。

早速、樽安丸に乗ることになり、会社のすぐ前のメリケン波止場から樽安丸に向かうサンパン(通船)を教えられて、それに乗りました。当時、私は十五才になったばかりで西も東も分からない訳ですからサンパンが最初に寄った船のタラップを登ったら、大連汽船の長山丸(四千トン)というわけで帰りのサンパンを回してもらって、元のメリケン波止場に戻されてしまいました。

次の便のサンパンで、何隻かの船に寄って今度はまちがいなく目的の樽安丸のタラップを登りますと、さきの長山丸よりはボロ船に見えましたがずいぶん大きな船でびっくりしました。トン数は二万トン、元は英国の貨物船で開戦後間もなくシンガポールにて日本軍の攻撃でいったん沈没しましたが、昭和十七年の暮れに日本軍の手で浮揚され修理された船です。(本

船は後にのべるように、大戦中二度沈没しましたが、その度に浮揚され、戦後は再び元の船主の手に戻るという極めて珍しい運命をたどりました。)

無線部には、局長の梶山さん、次席の在田さんのほか、二、三日前に乗った学校同期の安藤勝教君がいて、先に乗った安藤君が三席で、私はアップさん(Apparatus 実習生)という訳で、ずい分差をつけられてしまいました。

当時、沖繩の地上戦は最終段階に入っており、戦艦大和も四月七日に沈んでいたのですが、私たちは、連合艦隊は無事で反攻の時を待っていると思っていたが、ドイツも間もなく降伏することになります。

(中略)
しばらくして舞鶴に回航。七月三十日舞鶴港に艦載機による大空襲があり、船首付近と三番ハッチに破口、また、船橋付近は大破炎上し浸水のためく座沈没、船長他二名の乗組員のほか海軍の警戒隊の方々は船橋の二十五ミリメートル二連双二機の機銃で必死に応戦されて九名が即死、そのほか多数が重軽傷をされました。

無線部では私のほか局長さんのみ無事で、次通の山口さん(在田さんは徴兵のため交替)、同期の安藤君の姿はなく、病院に運ばれたとのことでした。

そこで、わずかばかりの手当と罹災証明書、海軍の帽子、作業服、革靴を支給されて、私の実習は終了しました。

その後、安藤君とは会っていません。学校の名簿にも消息不明となっており、いまだに心残りになっています。実習では同期の木村源之助君が青函連絡船で亡くなっています。日本郵船戦時船史という立派な本がありますが、そこには樽安丸の写真もなく、当時の乗組員名簿九十四名には、私や安藤君の記載はありません。

平成19年度 仙台電波工業高等専門学校同窓会決算書

平成20年度 仙台電波工業高等専門学校同窓会予算書

収入	5,111,031 円	
支出	4,201,715 円	
繰越金	909,316 円	

項目	19年度予算額	19年度決算額	備 考
前年度繰越金	1,268,944	1,268,944	前年度繰越金
前年度会費	3,000,000	2,861,660	電波通信科11期青山文則様他1475名
前年度会費	10,000	392,000	特科3期田岡誠一氏、詫間電波・熊本電波同窓会、宮城校長他
前年度会費	272,000	272,000	高専33回生135名×2000円 専攻科 松本 康裕
前年度会費	556	1,802	七十七・仙台・イーバンク銀行
前年度会費	300,000	293,625	自動販売機収益金
前年度会費	0	21,000	総会時記念品販売収益
合 計	4,851,500	5,111,031	

収入	4,500,000 円	
支出	4,500,000 円	

項目	20年度予算額	19年度決算額	備 考
前年度繰越金	1,268,944	1,268,944	前年度繰越金
前年度会費	3,000,000	2,861,660	1500名×2000円
前年度会費	10,000	392,000	高専34回生151名×2000円
前年度会費	302,000	272,000	
前年度会費	1,684	1,802	
前年度会費	277,000	293,625	自動販売機収益金
前年度会費	0	21,000	
合 計	4,500,000	5,111,031	

項目	19年度予算額	19年度決算額	備 考
会費	200,000	200,000	残高 約1091万円
会費	700,000	601,902	第53・54号会報、封筒、振替用紙、他
会費	500,000	381,580	総会、役員会、委員会集金、他
会費	900,000	755,403	会報、総会、役員会、委員会案内、他
会費	800,000	725,160	東京総会旅費、名簿台帳整理、宛名電算処理、他
会費	272,000	272,000	高専第33回生136名(名刺入れ)
会費	100,000	61,206	祝電1、市電5、市電金1、花輪代2
会費	500,000	428,700	現役学生の課外活動等の支援、レンタルサーバー費
会費	400,000	373,144	関東(20万)北海道(10万)支部活動費・東北支部準備金(10万)
会費	300,000	268,220	手摺り袋1000枚、その他
会費	175,500	134,400	レンタルサーバー構築費(学外H P用)
合 計	4,851,500	4,201,715	

項目	20年度予算額	19年度決算額	備 考
会費	100,000	200,000	残高 約1101万円
会費	800,000	601,902	第55・56号会報(カラー印刷)、封筒、振替用紙、他
会費	400,000	381,580	総会、役員会、委員会集金、他
会費	800,000	755,403	会報、総会、役員会、委員会案内、他
会費	800,000	725,160	東京総会旅費、名簿台帳整理、宛名電算処理、他
会費	302,000	272,000	高専第34回生151名(名刺入れ)
会費	100,000	61,206	祝電、市電、市電金、他
会費	400,000	428,700	現役学生の課外活動等の支援、用具の購入
会費	300,000	373,144	東北支部(20万)関東(10万)北海道(10万)支部活動費
会費	250,000	268,220	高専第34回生(5万×4クラス)その他の回生(5万)
合 計	4,500,000	4,201,715	

平成20年5月1日 上記の通り報告いたします

会 計 岡 義 典

平成20年5月1日 監査の結果正確であることを認めます

監 事 佐藤 敏行 吉田 孝志 出貝 隆道

通信欄だより

前回から総会返信はがき通信欄を使用した通信欄だよりを開始しましたが、今回もたくさんの方に記入していただき、誠に有難うございました。いただいた近況短信のうち、紙面の都合上、一部ではありませんが掲載させていただきます。これからもご投稿お待ちしております。

特科五期 長浜 孝

今は完全にリタイア。毎日健康管理のため一万歩を目標にウォーキングを実施しており、元気に畑仕事等をしております。

本科十三期 庄司勝日出

現在の職業 午前↓電報配達(毎日)午後↓畑(冬季休業) 夜間↓電報配達(毎日)つまり、働きづめのパートですが、健康に感謝しています。

匿名希望

厚労省から後期高齢者の烙印を押されましたが、数病を抱えつつも何とか息災で居ります。来年一季度で傘寿ですが、近頃近隣者の訃報も多くなりました。年金生活者には増々住み難い世の中になって来ましたが、せめて中心穩やかに「林住期」を迎えられるよう願って居ます。

専攻科九期 佐藤 彊

元気であります。

第一別科五期 宮田文夫

無線通信から離れて十五年を経過。今では後期高齢者というレッテルをいたたきながら種々のボランティアに参加中です。

第一別科三期 高山博之

行政局がモルース通信を使わなくなって久しくなりますが、アマ

チュア無線では健在です。毎月第三日曜日はCWの練習会を開いてます。JATOCR

本科二十二期 石川善昭

同窓会長佐々木君と同期です。もうそのような年代なのかと今更ながら月日の経つ早さを実感しています。畑仕事の教職に身を置き三十年が経ちました。今は教育行政に身を置き、船橋、市川、浦安などの葛南地区の子どもの達のために奮闘しています。

本科五期 三浦 昇

現在、東松島市の市議会議員をやっているが、我々年代は七十一歳の高齢を迎えているので高齢者福祉に力を入れたと考えている。地方自治体はむずかしい時代に入った。

旧職員 佐伯善雄

頸椎靱帯骨化症で全身しびれとうずきで歩行困難、自宅蟄居の状態で。(八十五歳) このごろやっとベンを執ることが出来るようになりました。会報毎度拝見させていただき御礼申し上げます。

第二別科七期 中和正一

お陰様で元気に毎日を過しております。囲碁、将棋、ゴルフ等楽しんでおります。又地区内の朗人クラブ会長を仰せつかり、何かと忙しい毎日でもあります。

特科四期 荻原辰男

私は無線講習所特四期卒。仙台で教育の大切さ学び、御陰様で今長男は東大卒工博士を授かり、今は庭木の手入れで楽しく過しています。当校に感謝しています。

本科十七期 米野正俊

一昨年、定年より三年早く退職し、紋別市に移住しました。冬は多少寒いですが、空気がきれいなので過ごしやすが、オホーツクの四季を楽しみながらのんびり暮らしています。今年は紋別市文化

連盟の理事・副会長になつてしまい、少し忙しくなりそうです。

本科四期 安部 茂

静岡にきて四十五年になります。が、元気です。

特科五期 鈴木正彦

会報五十四号通信欄だよりに載った「特五」の三名の投稿に懐かしさを覚えました。(活字で載ることはありませんから...) 特に同県人の笹原正作さん。文面にあった乗船の正作君に聞きたの思いがあるだけに感慨も一入。今なお現役の由。今後とも健康に留意してご活躍をお祈りします。

専攻科十五期 倉島 陽

自宅工房にて無垢の木による家具造りしております。

専攻科五期 佐々木 是

・高齢になってから方向転換し、現在社会福祉士及び精神保健福祉士として、八王子市の介護相談員とデイサービスの相談員をしております。

・尚、私の住んでいるマンションの隣に高専の本部が出来てます。

・趣味のアマチュア無線は、今も行っています。いわき市の別荘へタワーを立てて今も時々空に出てます。JATNB

第二別科六期 渋谷瀬津男

還暦や古希の山坂乗り越えて老友母校は夢のまた夢 阪神・淡路大震災でも生き延びましたので、点訳ボランティアなど、恩返しに余生を送っています。

勤務先への寄付

直接同窓会からの寄付金の要請と言う内容ではありませんが、「統合で学校が無くなるから、記念品を学校に送るために

会員計報

特科一期	猪股 隆雄氏
特科四期	田澤 清策氏
特科八期	川口 浩氏
旧本科二期	高橋 紀夫氏
本科五期	三橋 圭三氏
本科十四期	力田 弘氏
本科十七期	片寄 利春氏
専攻科十七期	尾形 司氏
第一別科五期	阿部 幸二氏
第一別科二期	山崎 昇吾氏
第一別科三期	渡邊 幸正氏
第一別科六期	和泉 洲氏

謹んでご冥福をお祈り致します。

編集後記

今年の台風は大荒れで、沖縄地方は大打撃を受けた模様です。その同じ時期に、私も沖縄へ上陸していたのかいかな。

三月に仙台へ転動してきましたが、業務内容が変わったこともあり、毎日忙し日々を送っております。その忙しさに輪をかけて、同窓会報の編集委員の仕事が入ってきました。編集委員会へ参加すると、十一年ぶりに藁科先生とお会いすることができ、昔話で盛り上がりました。私は今回初参加でありましたが、編集後記の役目を担いました。今となっては、締め切り間に合わず、編集委員の重任に耐えながら原稿を書いています。早くこの仕事を引き継げるよう、後輩が入社してくれることを心から願っております。

(中島)

寄付金を集めている」という電話が勤務先に来たそうです。同窓会では勤務先を通して会員に寄付をお願いすることは一切ありません。勿論、学校でもこのように寄付の要請はありません。ご注意をお願い致します。